

宮崎県内で検出された鍛冶関連遺構・遺物について（2） ～祭祀及びその他の出土例・2020 年度研究紀要補遺

竹田 享志

（宮崎県埋蔵文化財センター）

1 はじめに

筆者は、宮崎県内で出土した鍛冶関連遺物及び遺構の集成を試み、当センターの研究紀要第5集（県埋文セ2020）にて発表した（以下「紀要5集」と略す）。集成の結果、県内の鍛冶関連遺物及び遺構は、鉄生産に関わるものが大部分を占めることが把握できた。一方で、調査区内において鍛冶関連遺構が検出されていないにも関わらず、鉄滓や鑊の羽口等、鍛冶関連遺物のみが出土する遺跡も多く、遺跡周辺での鍛冶活動を想起させる事例も多く見られた。時代別では、古墳時代が全体の80%を占める。このころの鍛冶活動はもっぱら竪穴住居内で行われ、専用の鍛冶工房跡や鍛冶炉等の専用の施設の割合は、時代が下るにつれて増加する傾向にある。鍛冶活動の種類については小鍛冶が大半を占めるが、精錬滓が出土している例（都城市平峰遺跡・梅北針谷遺跡等）もある。

前回の集成では遺漏分があったことから、今回その補遺を行うべく再度集成を試みた。その中で、鉄生産に伴わない鍛冶関連遺物の出土例を確認した。紀要5集で掲載した上多々良遺跡（延岡市）における土師器埋納遺構に鉄滓が共伴した例など3遺跡の出土例を紹介する。なお、掲載した遺構・遺物の縮尺は、遺構を150分の1、遺物を8分の1を基本とし、遺構の規模等に応じて設定した。また、紀要5集で掲載した遺跡と区別するため、今回掲載する遺跡の集成番号を1001から設定し、地図上に赤丸で表示した。

2 生産以外の鍛冶関連遺物出土の例

（1） 島内遺跡139号地下式横穴墓（えびの市）出土の鍛冶具（集成番号1010・写真1）

島内地下式横穴墓群は、えびの盆地中央に西流する川内川左岸の霧島山麓北端にある平坦な低位段丘に所在する。139号墳は、その北東エリアに所在する。調査報告書（えびの市教委2018）によれば、鍛冶関連遺物である象嵌装鉄鉗・へら状鍛冶工具は、出土した小刀群の中から、保存処理の際に存在が明らかになった。ともに2条の波状文の銀象嵌が施されている。鉄鉗は約15cmと小型であり、象嵌も施されていることから、儀器的可能性がある。

小型鉄鉗は韓国での出土例が多く、象嵌も施されていることから、朝鮮半島の技術との関係が考えられる。また、高級織物の経錦と綾が付着していることから重要器物として扱われており、被葬者は金属器生産の統括者であることが伺える。

（2） 高岡麓遺跡第32地点（宮崎市）のピットから出土した鉄滓（集成番号1020・図1）

高岡麓遺跡は、宮崎市高岡町の大淀川とその支流の飯田

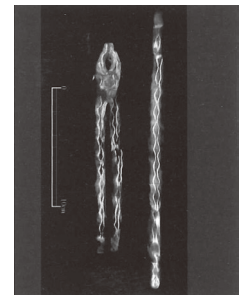


写真1 島内139号地下式横穴墓出土の象嵌装鉄鉗（左）・へら状鍛冶工具（右）(X線CT画像)

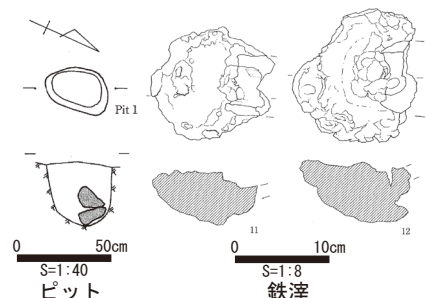


図1 1020 高岡麓遺跡32地点

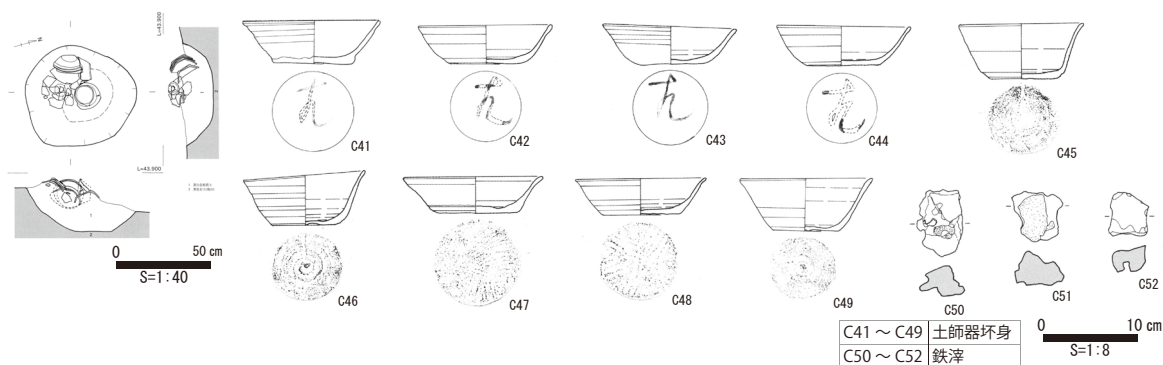


図2 3 上多々良遺跡 土師器埋納遺構

川が合流する付近の沖積地に所在する。発掘調査によって中世から近世にかけての遺構・遺物が検出された。鍛冶関連遺物としては、轆の羽口・鉄滓が出土している。その中に、鉄滓が出土したピットがある。長軸 30 cm、短軸 20 cm、深さ 35 cm を測るピット内から、椀形鉄滓 2 点が積み上げられた形で出土している。調査報告書（宮崎市教委 2012）によれば、鉄滓をピット内に設置する目的としては、柱穴の根固め等が考えられるとのことであるが、調査区内のピットで根固めを持つものは他に検出されておらず、祭祀の可能性も考えられる。

（3） 上多々良遺跡（延岡市）の土師器埋納遺構から出土した鉄滓（集成番号 3・図 3）

上多々良遺跡は、延岡市岡富町の岡富山から南東に派生する最南北端の丘陵上に位置する。発掘調査によって、古墳時代から古代にかけての遺構・遺物を検出した。調査報告書（延岡市教委 2011）によれば、鍛冶関連遺物としては、土師器埋納遺構から「左」と墨書された 4 枚を含む 9 枚の坏とともに、3 点の鉄滓が出土した。土坑は、長軸 55 cm、短軸 50 cm、深さ 11 ~ 12 cm を測る。鉄滓は土師器坏の下から出土しており、9 枚の土師器坏は鉄滓を覆うように埋設されたと考えられる。土師器坏は 9 世紀に比定される。本遺構は、9 世紀代の骨蔵器埋納遺構に近接していることと、土師器の年代が骨蔵器と基本的に同時期とみられることから、火葬墓に関連した遺構と考えられる。

本遺跡の発掘調査では、他に鍛冶関連遺構・遺物の検出は報告されていないため、火葬墓に埋葬された被葬者と鉄生産との関連が想起される。

3 おわりに

今回紹介した 3 例の鍛冶関連遺物は、島内 139 号地下式横穴墓の銀象嵌鉄鉗・へら状鍛冶工具については「副葬品」として、高岡麓遺跡第 32 地点の鉄滓については柱穴の根固めといった「廃棄物の再利用」（または「祭祀」？）として、上多々良遺跡の土師器埋納遺構の鉄滓については「葬送に関する祭祀」として、多様な性格をもつ。

筆者が調査を担当した小松尾遺跡出土の鍛冶作業に用いられた砥石・鉄滓等の鍛冶関連遺物の出土をきっかけとして、紀要 5 集から集成を試みてきたが、一口に鍛冶関連遺物と言っても、鉄生産に限らず、その当時の社会情勢等、さまざまな関連がある。今後、さらに検討を進めていきたい。

最後に、本稿を執筆するにあたり、ご指導いただいた関係各位に謝意を表する。

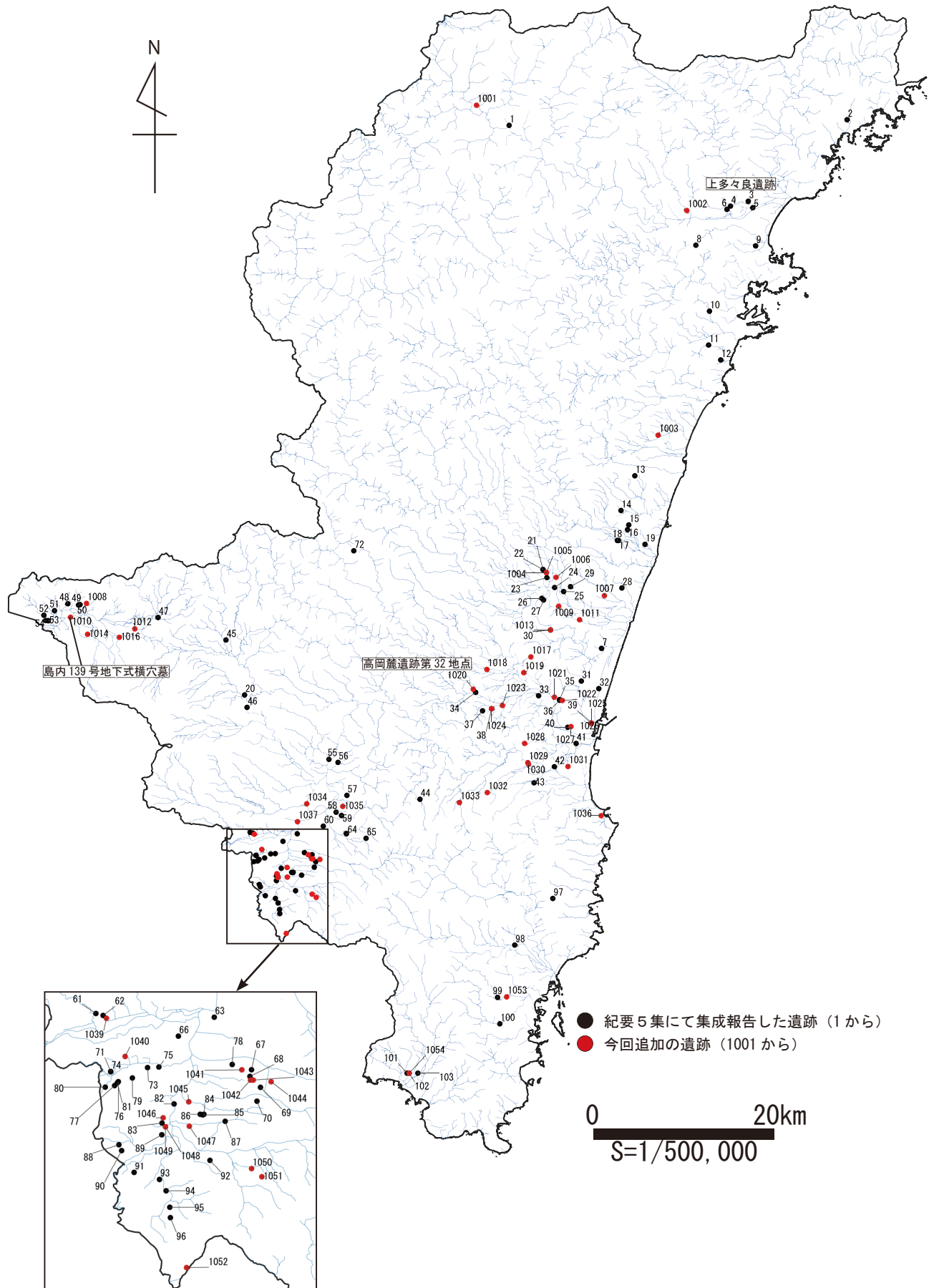


図3 宮崎県における鍛冶関連遺跡の分布図

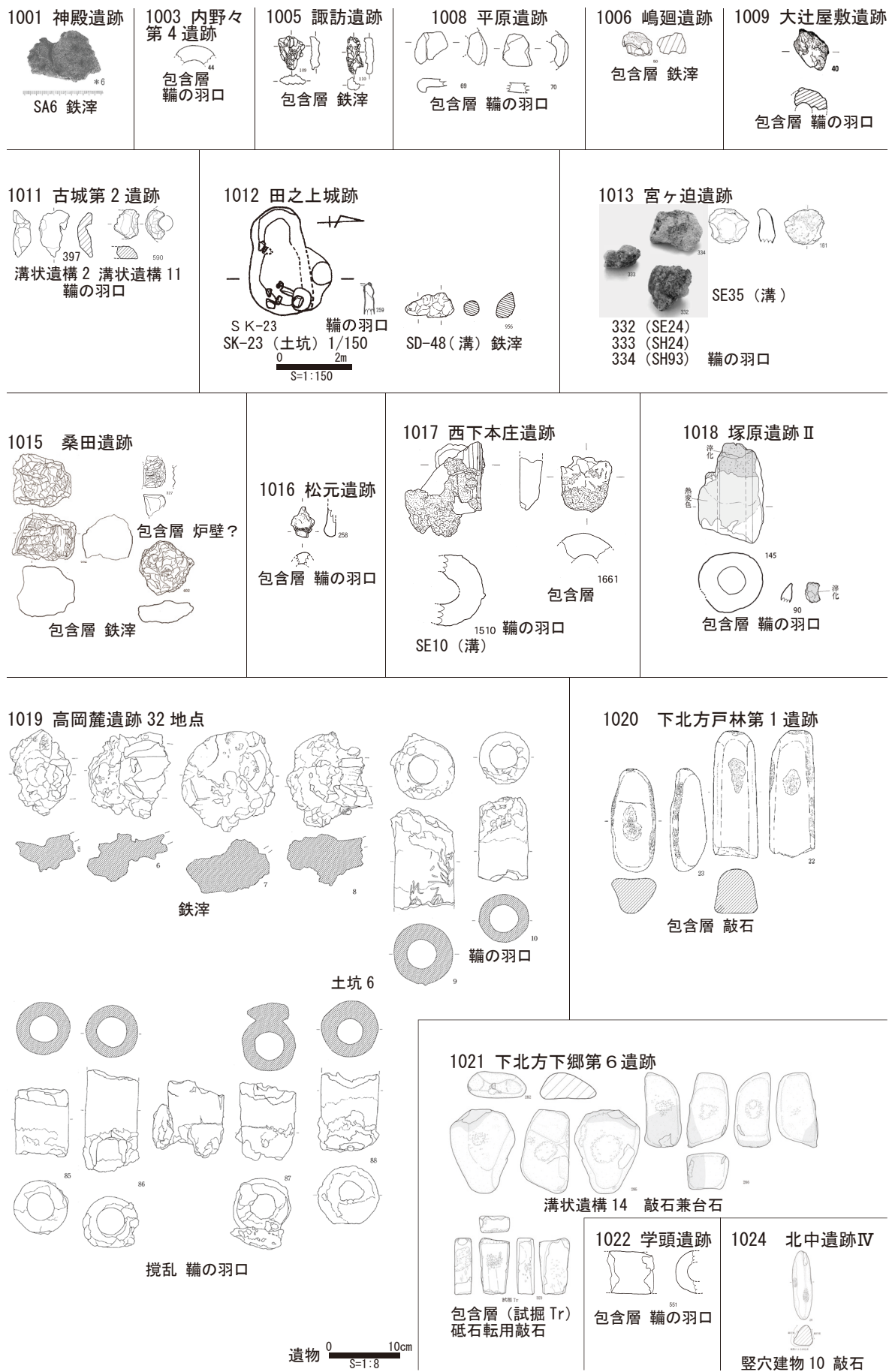
(第1表) 鍛冶関連遺跡一覧 (2021年2月段階)

No.	遺跡名	所在地	出土遺物	時代	報告書名	番号	発行機関	発行年
1001	神殿遺跡 A 地区	高千穂町	鉄滓 (SA6)	古代 (奈良時代 8 世紀代)	広木野遺跡・神殿遺跡 A 地区	7	宮埋セ	1997
1002	畑山遺跡	延岡市	(鍛造) 鉄片	弥生	上南方地区遺跡: 中尾原遺跡・畑山遺跡	8	延岡市教委	1992
1003	内野々第 4 遺跡	都農町	44 韃の羽口 (包含層)	不明	内野々遺跡・内野々第 2・第 3 遺跡・内野々第 4 遺跡	202	宮埋セ	2011
1004	諏訪遺跡	西都市	韃の羽口 (表採)	不明	置県 130 年記念埋蔵文化財資料活用推進事業報告書	232	宮埋セ	2014
1005	諏訪遺跡	西都市	鉄滓	不明	諏訪遺跡	12	西都市教委	1990
1006	嶋廻遺跡	西都市	50 韃の羽口 (包含層)	不明	嶋廻遺跡	36	宮埋セ	2001
1007	南原ベニガラ工房跡	新富町	褐鉄鈺の残滓 (2 号土坑)	近世	隅ヶ迫横穴墓群・南原ベニガラ工房跡・祇園原地下式横穴 5 号・比良横穴墓群	52	新富町教委	2009
1008	平原遺跡	えびの市	韃の羽口 (包含層)	不明	野久首遺跡・平原遺跡・妙見遺跡	2	宮崎県教委	1994
1009	大辻屋敷遺跡	西都市	40 韃の羽口 (包含層)	不明	梅ヶ島遺跡 大辻屋敷遺跡	32	宮埋セ	2001
1010	島内 139 号地下式横穴墓	えびの市	象嵌装鉄鈺	古墳	島内 139 号地下式横穴墓 I	55	えびの市教委	2018
1011	古城第 2 遺跡	宮崎市	韃の羽口 (溝状遺構 2・11)	古墳～古代	古城第 2 遺跡	103	宮崎市教委	2015
1012	田之上城跡	えびの市	埴塙 (包含層)、韃の羽口 (SK-23)、鉄滓 (SD-48)	中世	小岡丸地区遺跡群: 北田遺跡・田之上城跡	37	えびの市教委	2003
1013	宮ヶ迫遺跡	宮崎市	韃の羽口: 161・162 (SE35)、332 (SE24)、333 (SH24)、334 (SH93)		宮ヶ迫遺跡	228	宮埋セ	2013
1014	小路上遺跡	えびの市	鉄滓・金床石 (SK-06、SK-08)	近世 (17 世紀前半)	長江浦地区遺跡群: 内丸遺跡・弁財天遺跡・馬場田遺跡・水流遺跡・役所田遺跡・小路上遺跡・浜川原遺跡	32	えびの市教委	2000
1015	桑田遺跡	えびの市	鉄滓 (包含層)		桑田遺跡・二本杉遺跡・元巢遺跡	56	えびの市教委	2019
1016	松元遺跡	国富町	258 韃の羽口 (包含層)	不明	松元遺跡・井手口遺跡・塚原遺跡	44	宮埋セ	2001
1017	西下本庄遺跡	国富町	韃の羽口 (包含層)、鉄滓 (SE10)	古代～中世	西下本庄遺跡	15	宮埋セ	1999
1018	塚原遺跡 II G・H・I・J 地点	国富町	90 韃の羽口 (包含層)、145 韃の羽口 (包含層)	90: 古代～中世、145: 不明	塚原遺跡 II G・H・I・J 地点	245	宮埋セ	2019
1019	高岡麓遺跡 32 地点	宮崎市	鉄滓 (土坑 6・ビット 1)、韃の羽口 (土坑 6・表土攪乱)	近世末～近代	高岡麓遺跡第 28・31・32 地点	90	宮崎市教委	2012
1020	下北方戸林第 1 遺跡	宮崎市	敲石 (攪乱・造成土)	不明	宮崎市内遺跡発掘調査報告書	89	宮崎市教委	2012
1021	下北方下郷第 6 遺跡	宮崎市	敲石兼台石 (溝状遺構 14)、砥石転用敲石 (包含層)	古墳	下北方下郷第 6 遺跡	123	宮崎市教委	2019
1022	学頭遺跡	宮崎市	韃の羽口 (包含層)	不明	学頭遺跡・八児遺跡		宮崎県教委	1995
1023	穆佐城跡	宮崎市	鉄滓 (炉跡)	不明	史跡 穆佐城跡	67	宮崎市教委	2008
1024	北中遺跡 IV	宮崎市	20 敲石 (堅穴建物 10)、	古墳	北中遺跡 IV	121	宮崎市教委	2018
1025	北中遺跡 V	宮崎市	韃の羽口・鉄滓・赤化礫 (SA1)、鉄滓 (SA2・包含層攪乱層)	古墳	北中遺跡 V	124	宮崎市教委	2019
1026	別府町遺跡	宮崎市	91 韃の羽口 (包含層)	不明	別府町遺跡	137	宮埋セ	2006
1027	本城跡	宮崎市	374～377 鉄滓 (包含層)、398 韃の羽口 (包含層)	不明	本城跡	60	宮埋セ	2002
1028	竹ノ内遺跡	宮崎市	16 埴塙 (包含層)、17 韃の羽口 (包含層)	古代	竹ノ内遺跡	27	宮埋セ	2000
1029	五反畑遺跡 A 地区	宮崎市	236 韃の羽口 (SE13)	古代	五反畑遺跡 A 地区	28	清武町教委	2009
1030	市位遺跡	宮崎市	韃の羽口 (包含層)	不明	市位遺跡	10	宮埋セ	1998
1031	芳ヶ迫第 2 遺跡	宮崎市	鉄滓	不明	芳ヶ迫第 2 遺跡 芳ヶ迫第 3 遺跡 札ノ元遺跡		宮崎市教委	1985
1032	畑田遺跡	宮崎市	鉄滓	不明	畑田遺跡	31	宮崎市教委	1999
1033	山ノ田第 1 遺跡	都城市	韃の羽口 (包含層)	不明	山ノ田第 1 遺跡		宮崎県教委	1996
1034	山之口一本松遺跡	都城市	韃の羽口、鉄滓 (包含層)	中世～近世	山之口一本松遺跡	124	都城市教委	2016
1035	高城牧ノ原遺跡群	都城市	鉄滓 (SF2: 道路状遺構)	中世	高城牧ノ原遺跡群	142	都城市教委	2020
1036	右葛ヶ迫遺跡	宮崎市	韃の羽口 (870: SE1・4、1179: 包含層)	870: 中近世・1179: 不明	右葛ヶ迫遺跡	21	宮埋セ	2000
1037	野々美谷城跡	都城市	鉄滓 (SE2: 道路)・埴塙 (SA8)・韃の羽口 (SA21)	中世	平成元年度遺跡発掘調査報告	11	都城市教委	1990
1038	庄内西脇遺跡	都城市	韃の羽口 (HSC4: 土坑)、鉄滓 (包含層)、炉壁 (HSC2・包含層)、鉄付着礫 (包含層)	平安	庄内西脇遺跡	128	都城市教委	2017
1039	肱穴遺跡	都城市	韃の羽口 (水田)	中世	肱穴遺跡 (2)	85	都城市教委	2008
1040	松原地区第 3 遺跡	都城市	埴塙 (包含層)	中世	松原地区第 1・2・3 遺跡	7	都城市教委	1989
1041	白山原遺跡 2	都城市	スサ入り粘土	中世?	白山原遺跡 (第 2 次調査)	130	都城市教委	2017
1042	白山原遺跡 3	都城市	砥石、韃の羽口、鉄滓、粘土塊 (包含層)	古代～中世	白山原遺跡 (第 3 次調査)	131	都城市教委	2017
1043	白山原遺跡 4	都城市	銚型、韃の羽口、埴塙、炉壁 (包含層)	古代～中世	白山原遺跡 (第 4 次調査)	137	都城市教委	2019
1044	樺山・郡元地区遺跡	三股町	鉄滓 (SE1・SE6・SC 8/ 9/10)、韃の羽口 (SE29)	中近世	樺山・郡元地区遺跡		宮崎県教委	1992
1045	中町遺跡 (第 5 次調査)	都城市	鉄滓 (SC149)	近世	中町遺跡 (第 5 次調査)	129	都城市教委	2017
1046	都之城跡 (犬之馬場)	都城市	鉄滓 (包含層)	中世	都城市内遺跡 7	113	都城市教委	2014
1047	南御屋舗跡	都城市	鉄滓 (SC5)	近世～近現代	南御屋舗跡	127	都城市教委	2017
1048	都之城跡	都城市	埴塙・鉾滓 (主郭部)、韃の羽口	中世	平成 2 年度遺跡発掘調査概報	13	都城市教委	1991
1049	中之城跡	都城市	韃の羽口 (包含層)	不明 (中世)	都城・中之城跡 菓子野地下式横穴	3	都城市教委	1983
1050	久玉遺跡 (第 8 次)	都城市	韃の羽口 (SD2)	近世	久玉遺跡 第 7・8 次調査概要報告書	39	都城市教委	1997
1051	豊満大谷遺跡	都城市	303・304 韃の羽口 (包含層)	不明	豊満大谷遺跡 野添遺跡	83	宮埋セ	2004
1052	大浦遺跡	都城市	147～149 鉄滓 (包含層)、150・151 鉄塊系遺物 (包含層)、152・153 炉壁 (包含層)	不明	大浦遺跡 2	253	宮埋セ	2019
1053	大園遺跡	日南市	韃の羽口 (1 号住居跡)	弥生 (終末期)	大園遺跡	9	日南市教委	1998
1054	唐人町遺跡	串間市	鉄滓	不明	置県 130 年記念埋蔵文化財資料活用推進事業報告書	232	宮埋セ	2014

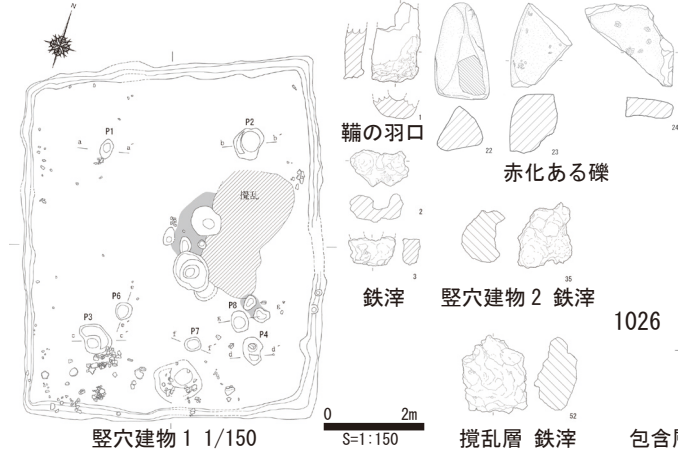
（第２表）鍛冶関連遺跡一覧（2020年3月段階）

No.	遺跡名	所在地	鍛冶関連出土遺物
1	布平遺跡	日之影町	鑪の羽口
2	中野内遺跡	延岡市	鑪の羽口
3	上多々良遺跡	延岡市	鉄滓
4	松尾城遺跡（第1次）	延岡市	鉄滓
5	延岡城内遺跡	延岡市	鑪の羽口（石製）、鉄滓
6	天下中須遺跡 第1次	延岡市	鉄滓
7	笠下遺跡	延岡市	鉄滓
8	山口遺跡第2地点	延岡市	鑪の羽口
9	林遺跡2	延岡市	鉄滓
10	板平遺跡（第3・4次調査）	日向市	高炉転用鑪の羽口、金床石、鉄滓、壺（水溜）
11	塩見城跡	日向市	炉壁、鑪の羽口、鉄塊系遺物、鉄滓、鉄片
12	岡遺跡（第9・13・15次調査）	日向市	鑪の羽口
12	岡遺跡（第6次調査）	日向市	鑪の羽口、鉄滓
12	岡遺跡（第7次調査）	日向市	鑪の羽口
13	銀座第1遺跡（一・二・四次調査）	川南町	鉄滓
14	前ノ田村上第1遺跡	川南町	鉄滓、鍛造鉄片
15	湯牟田遺跡（二次調査）	川南町	鉄滓
16	尾花A遺跡	川南町	鑪の羽口、金床石、砥石、壺、鉄滓、鍛造鉄片、粒状滓、鉄片
17	青木遺跡	高鍋町	金床石、鉄滓、壺（水溜）
18	野首第1遺跡：2	高鍋町	白磁（銅滓付着）
19	東光寺遺跡	高鍋町	鑪の羽口、鉄滓
20	高鍋城三ノ丸跡	高鍋町	鑪の羽口、鉄滓
21	法元遺跡	西都市	鉄滓
22	寺崎遺跡	西都市	鉄滓
23	日向国分寺跡	西都市	鑪の羽口、鉄滓、焼土
24	次郎左右衛門遺跡	西都市	鉄滓
25	宮ノ東遺跡	西都市	鑪の羽口、鉄滓
26	潮遺跡	西都市	鑪の羽口
27	山ノ後遺跡	西都市	鑪の羽口
28	上蘭遺跡F地区	新富町	鑪の羽口、鉄滓
28	上蘭遺跡E地点	新富町	鑪の羽口、鉄滓
29	向原第1遺跡	新富町	鑪の羽口、鍛造剥片？、粒状滓？、鉄片、台石（金床石）
30	宮ヶ迫遺跡	宮崎市	金床石、鉄滓、土師器壺（底部に鉄滓？）
31	前田遺跡	宮崎市	鑪の羽口、坩堝
32	山崎上ノ原第1遺跡	宮崎市	炉壁、金床石、砥石、鉄塊系遺物、鉄滓、軽石、粘土塊、鋸
33	山崎上ノ原第2遺跡：2	宮崎市	鑪の羽口、鉄滓
33	山崎上ノ原第2遺跡	宮崎市	鉄滓、鍛造鉄片、粒状滓
34	高岡館遺跡	宮崎市	鑪の羽口、鉄滓
35	下北方塚原第1遺跡	宮崎市	金床石、砥石
36	下北方塚原第2遺跡	宮崎市	鑪の羽口、金床石
37	梅木田遺跡	宮崎市	鉄滓
38	穆佐城跡	宮崎市	鉄滓
38	穆佐城跡	宮崎市	鉄滓
38	穆佐城跡	宮崎市	鑪の羽口、鉄滓
39	北中遺跡	宮崎市	鉄滓
39	北中遺跡	宮崎市	鑪の羽口、鉄滓
39	北中遺跡	宮崎市	鉄滓
40	橋通東1丁目遺跡	宮崎市	鑪の羽口
41	下鶴遺跡	宮崎市	鑪の羽口
42	須田木遺跡	宮崎市	鉄滓
43	田代堀第1遺跡	宮崎市	鉄滓
44	天神河内第1遺跡	宮崎市	鑪の羽口、鉄滓
45	杉園遺跡	小林市	坩堝
46	荒白遺跡	高原町	鑪の羽口
47	佐牛野遺跡	えびの市	高炉転用鑪の羽口
48	内小野遺跡	えびの市	高炉転用鑪の羽口、鉄滓付着壺、鉄鋌
49	古屋敷遺跡	えびの市	鑪の羽口、高炉転用鑪の羽口
50	妙見遺跡	えびの市	高炉転用鑪の羽口
51	昌明寺遺跡	えびの市	鉄滓、銅滓
51	昌明寺遺跡	えびの市	鉄滓、坩堝、銅片
52	下鶯遺跡	えびの市	高炉転用鑪の羽口、金床石
53	岡松遺跡	えびの市	高炉転用鑪の羽口、鉄滓、台石
54	天神免遺跡	えびの市	高炉転用鑪の羽口、金床石、鉄滓
55	大窪第1遺跡	都城市	鑪の羽口、金床石、鉄滓
56	上原第1遺跡	都城市	高炉転用鑪の羽口
57	一本松遺跡	高城町	鑪の羽口、鉄滓
58	真米田遺跡	都城市	炉壁、鑪の羽口、鉄滓
59	七日市前遺跡	都城市	鉄滓
60	並木添遺跡	都城市	鉄滓
61	金石城跡	都城市	鑪の羽口、坩堝

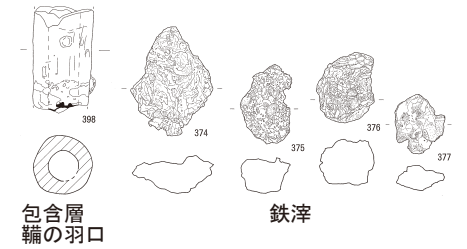
No.	遺跡名	所在地	鍛冶関連出土遺物
62	庄内小学校遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓
63	大島島田遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓
64	富吉前田遺跡	都城市	鑪の羽口、金床石、鉄滓、鍛造剥片、粒状滓、砥石 or 砥石
65	萩ヶ久保第1遺跡	都城市	鑪の羽口
66	小松尾遺跡	都城市	砥石、鉄滓、軽石
67	久玉遺跡（第10・11次）	都城市	鉄滓
68	都元西原遺跡	都城市	鉄滓
69	天神原遺跡	都城市	鑪の羽口
70	池ノ友遺跡（第1次）	都城市	鉄滓
71	王子原第2遺跡	都城市	鉄塊系遺物
72	王子原遺跡 上安久遺跡	都城市	鉄滓
73	平田遺跡 B地点	都城市	鉄滓
73	平田遺跡 A地点・B地点・C地点	都城市	炉壁、鑪の羽口、粘土塊
73	平田遺跡 B地点	都城市	鑪の羽口、金床石、鉄塊系遺物、鉄滓、鉄素材、坩堝、ガラス質滓
74	鶴喰遺跡	都城市	炉壁、鑪の羽口、坩堝
75	早馬遺跡	都城市	鉄滓
76	加治屋B遺跡	都城市	鉄滓
77	江内谷遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓、坩堝
77	江内谷遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓、坩堝
78	松原地区第1遺跡	都城市	鉄滓
79	星原遺跡	都城市	鉄滓
79	星原遺跡	都城市	鉄滓、鍛造鉄片
80	馬渡遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓
81	坂元B遺跡	都城市	鉄滓
82	ニタ元遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓
83	都之城取添遺跡	都城市	坩堝
84	柳川原遺跡 第2次	都城市	鑪の羽口
85	天神遺跡 第1・3・4・5次	都城市	鉄滓
85	天神遺跡 第2次	都城市	鉄滓
86	中町遺跡（第4次調査）	都城市	鉄滓
86	中町遺跡 第3次	都城市	鑪の羽口
87	上ノ園第2遺跡	都城市	坩堝
88	平峰遺跡（1次・2次調査）	都城市	鑪の羽口、金床石、鉄滓、鍛造剥片、粒状滓
88	平峰遺跡（3次調査）	都城市	高炉転用鑪の羽口、金床石、砥石、鉄滓、鍛造剥片、粒状滓、台石、磨石
89	瀬戸ノ上遺跡	都城市	鑪の羽口、坩堝
90	働女木遺跡	都城市	炉壁、砥石、鑄型、坩堝
91	上針谷・下針谷遺跡	都城市	鉄滓
92	永田藤束遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓
93	梅北針谷遺跡	都城市	炉壁、鑪の羽口、鉄塊系遺物、鉄滓、鍛造剥片、粒状滓、軽石、鉄鋌、鍛冶バサミ
94	高樋遺跡	都城市	高炉転用鑪の羽口、金床石
95	大年遺跡	都城市	高炉転用鑪の羽口、金床石
96	中床丸遺跡	都城市	鑪の羽口、鉄滓
97	宮鶴第2遺跡	日南市	鑪の羽口
98	飯田下町遺跡	日南市	鉄滓
99	宮ノ原遺跡	日南市	鑪の羽口、鉄滓
100	崩野遺跡	日南市	鉄滓
101	東堀遺跡	串間市	鉄滓
102	唐人町・池ヶ迫遺跡	串間市	鉄滓
103	万多城遺跡	串間市	鉄滓、焼土



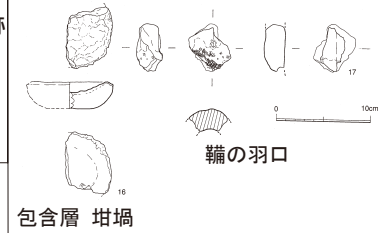
1025 北中遺跡Ⅴ



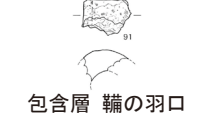
1027 本城跡



1028 竹ノ内遺跡



1026 別府町遺跡



1029 五反畑遺跡 A 地区



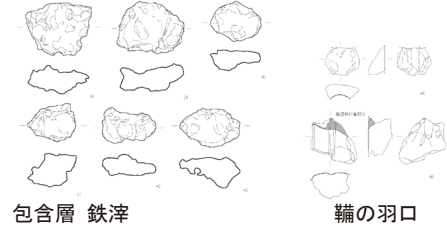
1030 市位遺跡



1033 山ノ田第 1 遺跡



1034 山之口一本松遺跡



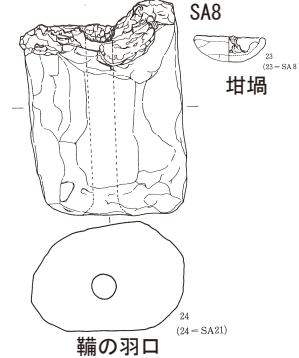
1035 高城牧ノ原遺跡群



1036 右葛ヶ迫遺跡



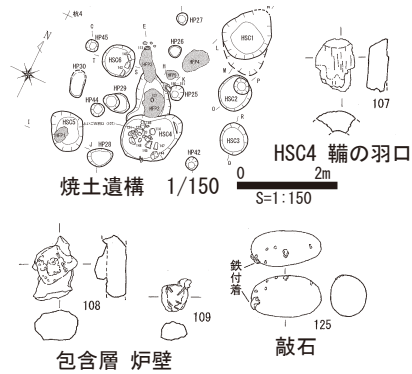
1037 野々美谷城跡



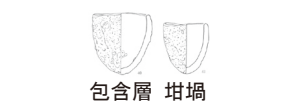
1039 肱穴遺跡



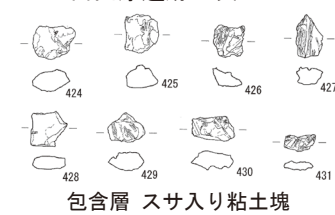
1038 庄内西脇遺跡



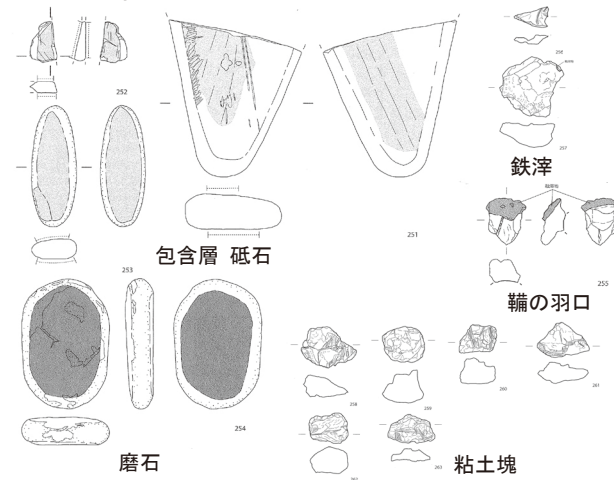
1040 松原地区第 3 遺跡



1041 白山原遺跡 2 次

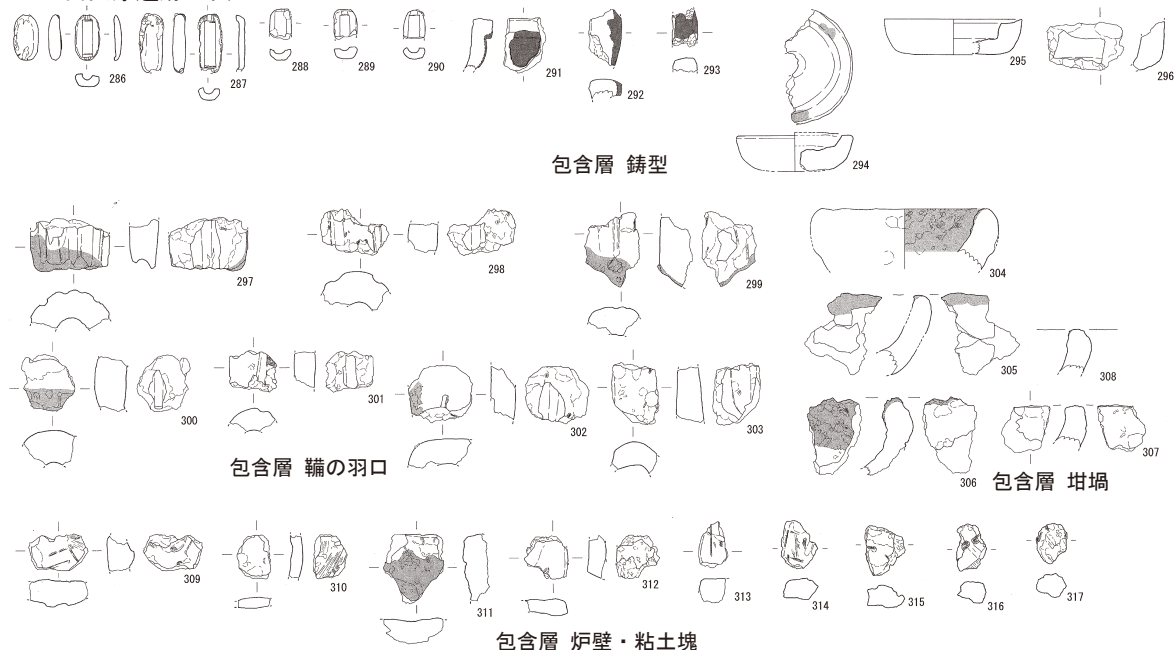


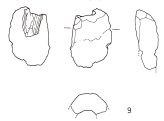

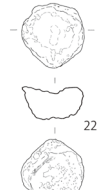
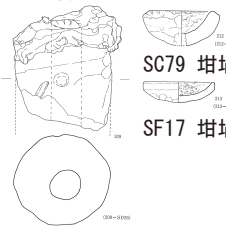
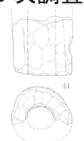

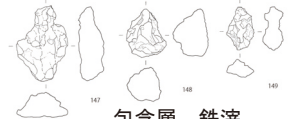



1042 白山原遺跡 3 次



遺物 0 10cm
S=1:8

1043 白山原遺跡 4次



<p>1044 樺山・郡元地区遺跡</p>  <p>29号溝 轡の羽口</p>	<p>1045 中町遺跡第5次調査</p>  <p>SC149 鉄滓</p>	<p>1046 都之城跡 (犬之馬場)</p>  <p>包含層 鉄滓</p>	<p>1048 都之城跡</p>  <p>SC79 埴塼 SF17 埴塼 SD26 轡の羽口</p>
<p>1050 久玉遺跡 第8次調査</p>  <p>SD2 轡の羽口</p>	<p>1051 豊満大谷遺跡</p>  <p>包含層 轡の羽口</p>	<p>1052 大浦遺跡</p>  <p>包含層 鉄滓</p>  <p>包含層 鉄塊系遺物</p>  <p>包含層 炉壁</p>	
<p>1053 大園遺跡</p>  <p>1号住居跡 轡の羽口</p>	<p>遺物 0 10cm S=1:8</p>		

引用・参考文献

- えびの市教育委員会 2018 「島内 139 号地下式横穴墓 I」『えびの市埋蔵文化財調査報告書』第 55 集
 宮崎市教育委員会 2012 「高岡麓遺跡 28・31・32 地点」『宮崎市文化財調査報告書』第 90 集
 延岡市教育委員会 2011 「上多々良遺跡」『延岡市文化財報告書』第 45 集

図・写真出典

掲載の図・写真は上記引用・参考文献のほか、第 1・2 表に記載した報告書から転載・一部改変（宮崎県埋蔵文化財センター）